

2 計画に掲げた目標の達成状況の概要（その1）

(1) 成果指標の評価基準及び評価の結果

① 評価基準

成果指標は、設定した項目の調査結果が、目標に対してどの程度達成できたかを次の3段階で評価します。

達成状況	基準
◎	計画に定めた目標を達成したもの
○	計画策定時よりも状況が改善しているが、計画に定めた目標を達成できなかったもの
△	計画策定時よりも状況が悪化しているもの

② 評価の結果

施策ごとに設定した合計19の成果指標のうち、半数以上が「◎」又は「○」になりました。

施策	達成状況別成果指標数			
	◎	○	△	合計
1 虐待やいじめ等の防止と子どもの権利の保障	3		1	4
2 子どもの育ちの支援	2	1	1	4
3 子育て家庭の支援		2	2	4
4 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）	3		4	7
合計	8	3	8	19

成果指標の出典元

子ども・子育て家庭意識・生活実態調査、若者の意識・生活実態調査、名古屋市総合計画2018に関するアンケート、社会的自立をするために必要な力を身に付ける生徒に関する調査 ※いずれも平成26年度に実施又は公表したもの

(2) 個別事業の評価基準及び評価の結果

① 評価基準

各施策に掲載した個別の事業について、平成 22 年度から 26 年度の 5 年間の実績が、計画に掲げた目標に対してどの程度達成できたかを次の 5 段階で評価します。

達成状況	基 準
達成	計画に定めた目標を達成したもの
概ね達成	計画に定めた目標を概ね達成したもの
やや遅れ	計画に定めた目標達成にやや遅れが見受けられたもの
未達成	計画に定めた目標を達成できなかったもの
見直し	法改正、制度改正、市民のニーズの変化等により、事業内容・事業量等を全面的に見直したもの（事業の廃止を含む）

（注）実施か所数の増加等を計画目標としている事業においては、平成 22 年度から 26 年度までの事業量が、計画の目標達成のために必要な事業量の 8 割以上であれば「概ね達成」、5 割以上であれば「やや遅れ」、5 割に満たない又は事業の実績が無ければ「未達成」としています。

② 評価の結果

計画に登載した 149 事業のうち、「見直し」を除いた 144 事業中、約 99% の事業について計画目標を「達成」又は「概ね達成」することができました。

施 策	達 成 状 況 別 事 業 数					
	達成	概ね達成	やや遅れ	未達成	見直し	合計
1 虐待やいじめ等の防止と 子どもの権利の保障	11	2				13
2 子どもの育ちの支援	66	2			4	72
3 子育て家庭の支援	39	2	1	1	1	44
4 仕事と生活の調和 (ワーク・ライフ・バランス)	20					20
合 計	136	6	1	1	5	149